

能勢町保健福祉センター（ささゆりセンター）を見学し、

保健福祉や年金に関する講義を受けました。

11月30日（火）、科目「社会福祉基礎」を選択している生徒たちが、能勢町保健福祉センター（ささゆりセンター）を訪問しました。

まず、当センター包括支援係の橋本澄代さんから、「能勢町における健康増進事業及び介護保険事業の取組」についての講義を受けました。当センターが担当する業務（健康増進、予防接種、母子保健、地域支援などの事業、介護保険事務）について、丁寧に教えていただきました。

続いて、豊中年金事務所の方により、年金の基礎知識について講義を受けました。年金ってなんだろう？どうして年金が必要なのか。公的年金がなかった場合、私たちがいかに困るかなど、大変わかりやすく説明していただきました。

最後に当施設の見学を行いました。当施設は、廊下が広い、段差がない、エレベーター・手すり・点字版の設置、障がい者用トイレ、電動昇降調理台など、障害のある方や老人、小さな子どもへの配慮がなされ、ユニバーサルデザインを広く取り入れられていることがよくわかりました。

今回の取組みを通じ、生徒たちが能勢町の老人福祉の課題がわかるなど、本校の福祉教育の充実につながるものであったと感じました。今後も地域との交流や連携を積極的に行ってまいりますので、本校教育活動へのご理解と支援をいただきますことを願います。

